

# マンガ「片町夜曲(セレナーデ)」 # 3 5 原作シナリオ

山崎浩治

## マンガ「片町夜曲(セレナーデ)」 #35 原作シナリオ

---

### #1 ハルの団地・居間(朝)

ハルと父(作業着姿)、祖母、弟妹たちが朝食を食べている。

父「かあちゃん、夜中に大声出すのはやめてくれ。寝とられん」

静江「おとうとおかあと喋ったんや」

父「かあちゃんのおとうもおかあもとっくに死んだるやろ！」

静江「(首を傾げて怪訝)……」

ハル「おとうとおかあといっぱい話せてよかったね、しずちゃん」

静江「(無邪気に)うん！」

### #2 「居酒屋まわりみち」(夜)

ハル、入ってくる。カウンターにアフター客と一緒の美鈴がいる。

末吉「らっしゃい。バイト、終わったんか」

ハル「うん。マスター、ビール。(店内を見回して)アヤカさんはもう上がったの？」

末吉「今日は休みや」

美鈴「オネエ所長の元妻の次はアヤカ？ 君はストライクゾーン、広いね」

ハル「……」

美鈴「アヤカはやめときな。あんたじゃ勝ち目がない」

ハル「彼氏、いるんすか」

美鈴「好きな人が亡くなったの。亡くなった人相手じゃ勝負にならないから」

ハル「……」

末吉「そういや明日はトオル君の月命日やな」

### #3 海に見える墓地(翌日)

アヤカ、墓参りをしている。

アヤカのOFF「死んでしまったトオルさんとは夢の中でしか会えない。トオルさんと夢でまた会いたい」

そんなアヤカを離れた場所から見つめているハル。

ハル「(人の気配に気付き、振り返る)」

トオルが立っている。トオルもまた、アヤカを見つめている。

ハル「ちわっす！」

トオル「(おやっという顔になって)彼女、知ってるの？」

ハル「ええ、ちょっと……彼女、亡くなった恋人の墓参りしてるんすよ」

トオル「そう」

ハル「(アヤカを見つめて)でも、忘れなきゃダメっすよ。前を見なきゃ」

ハル、振り返るが、トオルがいない。

ハル「あれ？(周囲を見回す)」

#### #4 夜の兼六園

アヤカとトオルが歩いている。

アヤカ「(嬉しそうに)夢の中に来てくれてありがとう、トオルさん！」

アヤカとトオルが歩いているのは霞ヶ池の`水面の上、。

アヤカ「でもトオルさんが幽霊になって、いつもあたしのそばにいてくれたなんてビックリです！」

トオル「オレのこと怖くないの？」

アヤカ「怖くないに決まってるでしょ！」

#### #5 金沢駅・鼓門の上に並んで座っているアヤカとトオル

アヤカ「いつかトオルさん、成仏しちゃうんですか」

トオル「やり残したことをやったらね」

アヤカ「やり残したことって……？」

トオル「……」

アヤカ「トオルさん、成仏しないで。あたしはずっとこうしていたいから」

#### #6 アヤカの部屋(夜)

幸せそうに眠っているアヤカ。

枕元のスマホが振動しているが、アヤカは目覚めない。

#### #7 「居酒屋まわりみち」店内

電話をかけている末吉を怪訝そうに見ているハル。

ハル「どうしたんすか」

末吉「アヤカちゃん、出て来ないんや。電話もつながらないし。弱ったな、今日は金曜日で忙しいのに」

ハル「(上着を脱いで)アヤカさんが来るまでオレ、手伝うっす！」

#### #8 片町の実景(別の日の夜)

#### #9 「居酒屋まわりみち」店内

客にオネエ所長や美鈴、あかり、ハルなどがいる。

美鈴「アヤカ、今日も休み？ 最近のアヤカ、どうしちゃったのかしら」

末吉「アヤカちゃん、トオル君の夢をよく見るってうれしそうに言っとったな」

ハル「トオル君ってアヤカさんが好きだった人っすか！」

オネエ所長「『だった』じゃなくて、いまも『大好きな人』」

オネエ所長、スマホの画像を見る——笑っているトオル。

ハル「(スマホを覗き込んで)……あっ」

#### # 10 犀川大橋(真夜中)

橋の上で佇み、河面を見ているトオル。

OFF「オレのばあちゃん、認知症なんすよ」

トオル、声の方を振り向くと、ハルもまた、欄干に身をもたれて河面を見つめている。

ハル「でもオレ、認知症の人がボケてるとは思えないんすよね。この世界とはちょっとだけ違う世界に行ってるんだと思うんすよ」

トオル「君は優しいんだね」

ハル「ねえトオルさん……」

トオル「どうしてオレの名を……」

ハル「アヤカさんと夢の中で会ってるんすか」

トオル「……」

ハル「アヤカさんもきっと、ばあちゃんと同じっす。でも彼女をそっちの世界に引っ張り込まないで下さい。アヤカさんはまだ若いんすから」

トオル「……」

ハル「オレ、トオルさんに勝つっす。トオルさんのこと、忘れさせるっす」

#### # 11 「居酒屋まわりみち」店内(別の日の夜)

アフターの客と入ってくる出勤着姿の美鈴。

OFF「らっしゃい」

作務衣姿のハルが元気よく働いている。

美鈴「なんであんたが『まわりみち』で働いてんのよ。どういうことマスター？」

末吉「どうしてもうちで働かせてくれ、って押しかけバイト。うちはバイト2人も雇うほど儲かってないのに。人件費で潰れるわ。とほほ」

ハル「オレ、一生懸命働きますから、店をもっと繁盛させましょ！」

美鈴「(店内を見回して)アヤカは？」

末吉「今日は入ってないんや。アヤカちゃん、最近休みがちやったから、ハル君が入ってくれて丁度いいんやけど」

美鈴「ねえマスター、アヤカは大丈夫なの？」

末吉「大学にもあんまり行ってないらしいな」

ハル、真剣な眼差しでカウンターを拭き掃除している。

#### # 12 アヤカの部屋

幸せそうに眠っているアヤカ。

アヤカ「(寝言で)トオルさん……」